

が特徴的なのは他の学年との交流や、縦の関係に慣れているところ。セリフを覚える手伝いをしたりして、下の世代の子の世話がスムーズにできています。

市長 その縦のつながりを大切にしながら、美里ではこの4月から「みさとの丘学園義務教育学校」において9年間の一貫教育が始まります。これまでの高宮小学校、辰水小学校、長野小学校、美里中学校が、いったん幕引きになるわけですが、移行するにあたって、プロジェクトが進んでいるそうですね。松原さんも一緒に参加していただいているとか。

鳴海 美里中学校の閉校事業で、私と松原さんも実行委員会に参加しています。イベントの中で、卒業生の写真をプロジェクターで投影しようということになり、卒業生の皆さんに劇場に来ていただいて写真を撮っています。

市長 この場所で撮影するのですね。

鳴海 第1期生も撮りました。最後の卒業生は69期生ですから83歳になられますが、とてもお元気でした。若い人も皆さん仲が良くて、昔話に花を咲かせて楽しく撮影できました。

市長 地元に残っている人も、そうじゃない人も一緒に撮ったのですか。

鳴海 皆さんにここに集まっていたきました。

市長 そんな歴史が、新しい学校につながっていくというわけですね。とても素敵な写真になると思います。公演の方に話を戻しますが、去年はどのような演目が上演されたのですか。

鳴海 劇場では、毎年4月から6月くらいまでの春シーズンと、9月から11月くらいまでの秋シーズンがあります。例えばダンスとか演劇だったり、松原さんと音楽家がコラボレーションして写真をプロジェクターで見せながら、生演奏をするような企画だったり。あとは、子どもの絵本の読み聞かせだったり、映画の上映会だったり。私たち第七劇場は、去年はたくさん地方を回り、ここベルヴィルから出発して京都、金沢、岡山と4カ所でオイディプスというギリシャ悲劇のツアー公演をしました。11月



世代を超えた地域の絆 劇場を通してつながる

には、日本と台湾で共同制作した作品を、まず台湾で公演をした後、三重県文化会館で日本公演をしました。

市長 2017年の春はもう間もなくですが、4月からはどんな公演が始まるのですか。

鳴海 この春はダンスから始まり、松原さんと音楽家のコラボレーション企画もあり、韓国から劇団を招いて公演があったり、子どもも大人も楽しめる作品の上演があったり、それから三重県文化会館と広島でも公演する予定の作品のレビュー特別版をここでも上演します。おはなし会や、映画の上映会もあります。

市長 では最後に、これからの意気込みなどお聞かせください。

鳴海 ここに住む方たちのお人柄にひかれて三重にゆかりもないにも関わらず移り住んだ私は、お世話になったたくさんの方々に恩返ししたいという思いもありますし、あそこに行けば何か面白いことをやっているという地域のための劇場であること、そして美里の名前、津の名前、そして三重の名前を知っていただけるような文化活動を国内外に向けて、これからも発信し続けていきたいと思っています。



市長対談は津市ホームページ・市長の部屋の市長対談でもご覧いただけます。

[HP](#) 津市 市長対談

検索